

# 2022年3月期第3四半期 決算資料



コ ー プ : 5 9 8 5

2022年2月10日

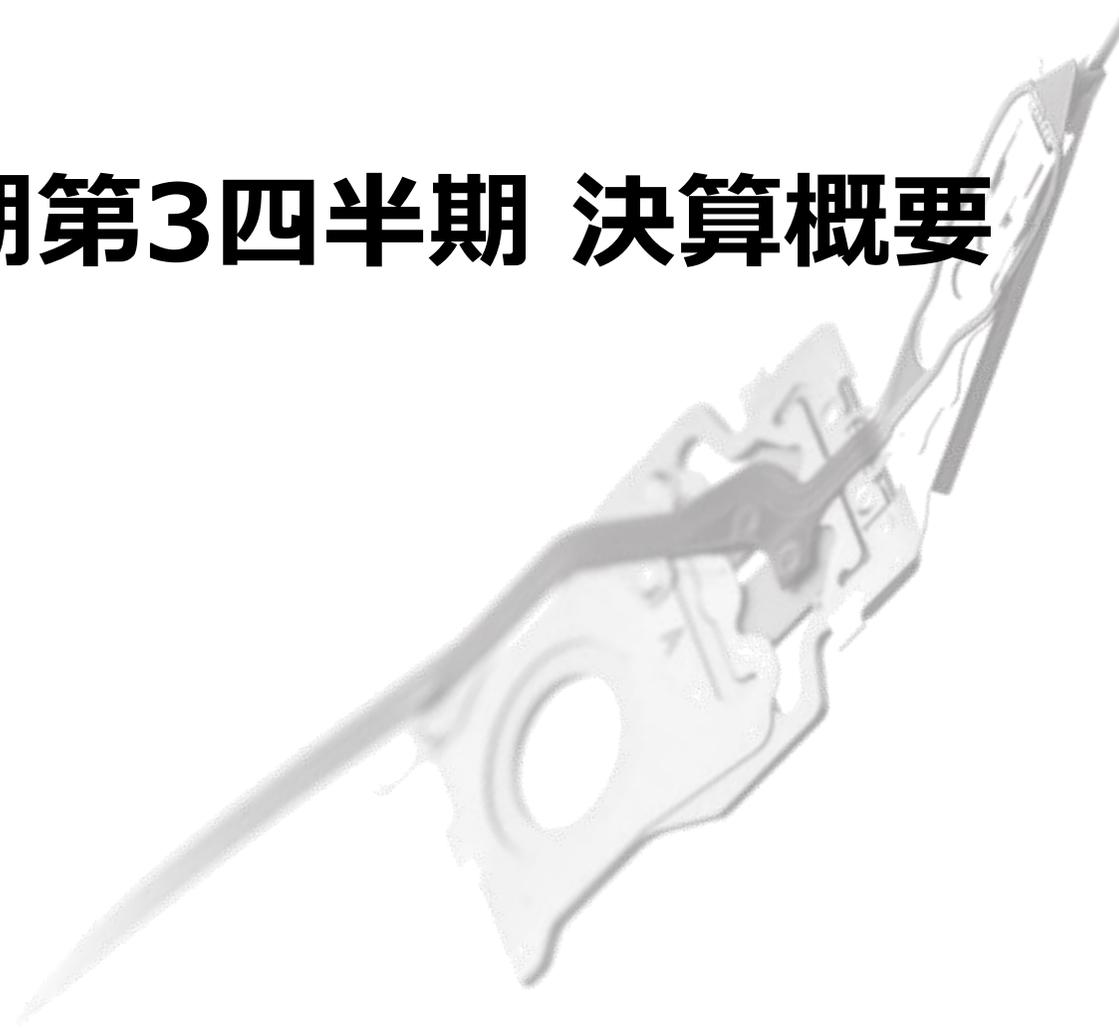
©SUNCALL CORPORATION All Right Reserved.



**1.2022年3月期第3四半期 決算概要**

**2.2022年3月期 業績見通し**

# 1.2022年3月期第3四半期 決算概要



# 2022年3月期 第3四半期累計決算のポイント

- **売上高** 35,205百万円（前年同期比+6,600百万円、+23.1%）
- **営業利益** 553百万円（前年同期：▲1,217百万円）

自動車分野、電子情報通信分野ともに前年同期比大幅増収だが、直近第3四半期は世界的な半導体不足および部品調達不足を背景とした自動車生産の減産影響を受け前年同期比0.6%減収

## 自動車分野

売上前年同期比+4,183百万円（+22.1%）

### \* 材料関連

弁ばね用材料や精密異形材料の売上が大きく回復

### \* 自動車関連

半導体不足の影響を受けるも、自動車生産の回復基調継続

## 電子情報通信分野

売上前年同期比+2,621百万円（+29.4%）

### \* HDD用サスペンション

データセンター投資増に伴う需要が高水準で継続

### \* プリンター関連

リモートワークへの移行に伴う家庭用の需要は継続しているが半導体不足および部品調達不足により3Qは減少

# 2022年3月期第3四半期累計 決算概要

- 売上高 新型コロナウイルス感染拡大から大きく回復し、前年同期比+6,600百万円の増収  
自動車関連の売上回復および電子情報通信関連の需要が高水準を維持
- 営業利益 増収に伴い営業利益553百万円を計上。前年同期比+1,771百万円の収益改善
- 経常利益 上記営業利益改善に加え、メキシコ子会社の為替差益等による収益改善

(百万円)	2021年3月期 第3四半期累計	2022年3月期 第3四半期累計		
	実績	実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	28,605	<b>35,205</b>	+6,600	+23.1%
営業利益	▲1,217	<b>553</b>	+1,771	—
経常利益	▲1,113	<b>848</b>	+1,961	—
四半期純利益	▲790	<b>546</b>	+1,337	—
一株当たり利益	▲25.00円	<b>17.53</b>	—	—
平均為替レ-卜	106.1円/ドル 122.3円/ユーロ	111.1円/ドル 130.6円/ユーロ		

# 2022年3月期第3四半期 決算概要(四半期ベース)

## Q2/Q3比較

- 売上高 新型コロナウイルス感染拡大の影響から回復しつつあるも、半導体不足や変異種拡大に伴う工場閉鎖の影響により自動車関連製品及びプリンター関連が四半期比減収
- 営業利益 積極的な戦略投資に伴う償却費増加および販促活動活発化により販管費が増加し、四半期比減益

(百万円)	2021年3月期				2022年3月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	2Q比 増減額	2Q比 増減率
売上高	7,964	8,872	11,767	11,537	11,726	11,776	<b>11,702</b>	▲73	▲0.6%
営業利益	▲745	▲560	87	▲75	323	153	<b>76</b>	▲76	▲49.7%
経常利益	▲876	▲484	246	114	404	246	<b>197</b>	▲48	▲19.5%
当期純利益	▲680	▲336	225	852	270	184	<b>92</b>	▲92	▲50.0%
平均為替レートを	107.6円/ドル	106.2円/ドル	104.5円/ドル	105.9円/ドル	109.4円/ドル 131.9円/ユーロ	110.1円/ドル 129.8円/ユーロ	113.7円/ドル 130.0円/ユーロ		

# 2022年3月期第3四半期 製品区分別売上(四半期ベース)

- 自動車分野
  - 材料関連 : 自動車生産低迷の影響を受けるものの引き続き需要は継続
  - 自動車関連 : 半導体不足や変異種拡大に伴う工場閉鎖の影響による減少
- 電子情報通信分野
  - HDD用サスペンション : データセンター投資に伴う需要増加で堅調
  - プリンター関連 : 3Qは減少しているが、リモートワークに伴う家庭用特需は継続

(百万円)	2021年3月期				2022年3月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	2Q比 増減額	2Q比 増減率
売上高	7,964	8,872	11,767	11,537	11,726	11,776	<b>11,702</b>	▲73	▲0.6%
自動車分野	5,349	5,505	7,999	8,186	8,137	7,509	<b>7,392</b>	▲116	▲1.5%
材料関連	1,344	760	1,536	1,759	1,778	1,631	<b>1,690</b>	+59	+3.7%
自動車関連	4,004	4,745	6,463	6,427	6,359	5,878	<b>5,701</b>	▲175	▲3.0%
電子情報通信分野	2,343	3,105	3,481	3,177	3,380	4,082	<b>4,089</b>	+7	+0.1%
HDD用サスペンション	1,373	2,155	2,320	2,023	2,146	2,791	<b>2,940</b>	+149	+5.4%
プリンター関連	746	648	915	962	1,015	960	<b>835</b>	▲123	▲12.8%
通信関連	223	300	246	194	218	332	<b>312</b>	▲18	▲5.6%
その他	271	261	286	177	208	185	<b>220</b>	+35	+18.9%

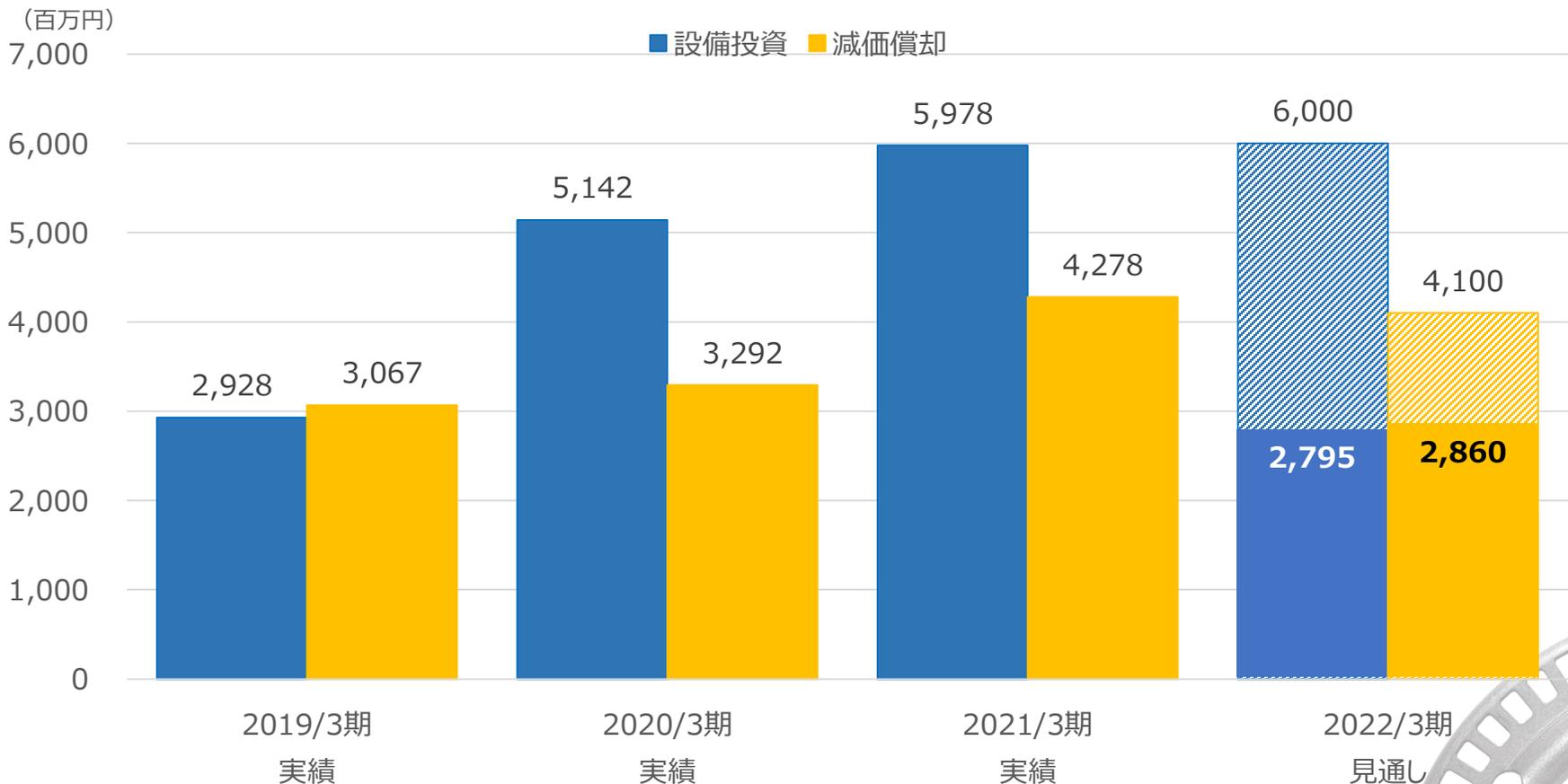
# 2022年3月期第3四半期 連結貸借対照表

- 固定資産増加 : HDDサスペンションや自動車関連への能力増強投資により有形固定資産+990百万円  
株価下落により投資有価証券▲222百万円
- 流動負債増加 : 短期借入金+2,212百万円, 未払金▲504百万円
- 純資産増加 : 当期純利益+485百万円, 配当金▲625百万円, 投資有価証券評価差額▲154百万円  
為替換算調整勘定+545百万円, 自己株式(公開買付他)の増加▲698百万円

(百万円)		2021年3月期末	2022年3月期 第3四半期末			
			実績	実績	前期末比増減額	
流	動	資	産	25,207	<b>25,591</b>	+383
	現	預	金	7,570	<b>6,611</b>	▲959
	売	上	債	9,996	<b>10,146</b>	+149
	棚	卸	資	6,465	<b>7,703</b>	+1,237
固	定	資	産	28,167	<b>28,905</b>	+738
総	資	産		53,375	<b>54,496</b>	+1,121
負	債	合	計	17,054	<b>18,551</b>	+1,497
流	動	負	債	13,781	<b>15,580</b>	+1,798
	有	利	子	2,802	<b>4,765</b>	+1,962
固	定	負	債	3,272	<b>2,971</b>	▲300
	有	利	子	1,541	<b>1,262</b>	▲278
純	資	産	合	36,320	<b>35,944</b>	▲376
負	債	純	資	53,375	<b>54,496</b>	+1,121

# 2022年3月期 設備投資・減価償却の状況

- 3Q累計期間で自動車分野・HDD用サスペンションを中心に28億円の設備投資を実施
- 新製品・成長製品への投資継続  
(HDD用サスペンションの増産および次期製品関連投資で4Qで約32億円を予定)



※上記設備投資額については完成ベース

# 2022年3月期通期業績見通し



# 2022年3月期 業績見通しのポイント

## 過去最高売上高、前回公表予想据え置き

- **売上高 47,600百万円** : 前期比+7,460百万円 (+18.6%)
- **営業利益 650百万円** : 前期比+1,943百万円

世界的な半導体不足や新型コロナ感染拡大による部品調達不足を背景に自動車生産の減産影響を受けるものの、全体的に回復傾向となっており、11月12日公表予想を据え置き

### 自動車分野

売上前期比+5,161百万円 (+19.1%)

材料関連、自動車関連：

- 東南アジアでの新型コロナ拡大による部品調達不足を背景とした自動車生産の減産影響を受けつつも、1-3月は復調見込み
- 重点戦略製品の拡販(バスバー、ローターコア他)

### 電子情報通信分野

売上前期比+2,594百万円 (+21.4%)

HDD用サスペンション：

データセンター投資増で需要は高水準

プリンター関連：

3Q(10-12月)は東南アジアでの新型コロナ拡大による顧客減産影響を受け一時的に減少するも、家庭用特需は継続

# 2022年3月期 業績見通し

- 売上高 自動車生産回復およびHDD用サスペンションの増加により、前期比+7,460百万円
- 営業利益 増収に伴い、前期比+1,943百万円の増益

(百万円)	2021年3月期		2022年3月期			
	通期実績	上期実績	下期予想	通期予想 (2021年8月5日修正)	前年通期 実績比 (額)	前年通期 実績比 (率)
売上高	40,140	23,502	24,098	<b>47,600</b>	+7,460	+18.6%
営業利益	▲1,293	476	174	<b>650</b>	+1,943	—
経常利益	▲1,000	650	200	<b>850</b>	+1,850	—
当期純利益	61	454	256	<b>710</b>	+649	+1,063.9%
一株当たり利益	1.95円	14.36	8.53円	<b>23.12円</b>	+21.17円	+1,085.6%
平均為替 レ - ト	106.1円/ドル	109.8円/ドル	113.9円/ドル	111.9円/ドル		
	123.7円/ユーロ	130.9円/ユーロ	130.0円/ユーロ	130.5円/ユーロ		

# 2022年3月期 製品区分別売上高見通し

- 自動車分野**
世界的な半導体不足による自動車減産影響を受けるが、前期比増収見込み  
 材料関連 : 自動車生産の回復による増加、欧州向け拡販  
 自動車関連 : 自動車生産の回復による増加、重点製品拡販(バスバー、ローターコア他)
- 電子情報通信分野**
データセンター向け投資に旺盛な需要が継続  
 HDD用サスペンション : データセンター投資に伴う需要増加継続  
 プリンター関連 : 在宅勤務増加に伴う家庭用特需

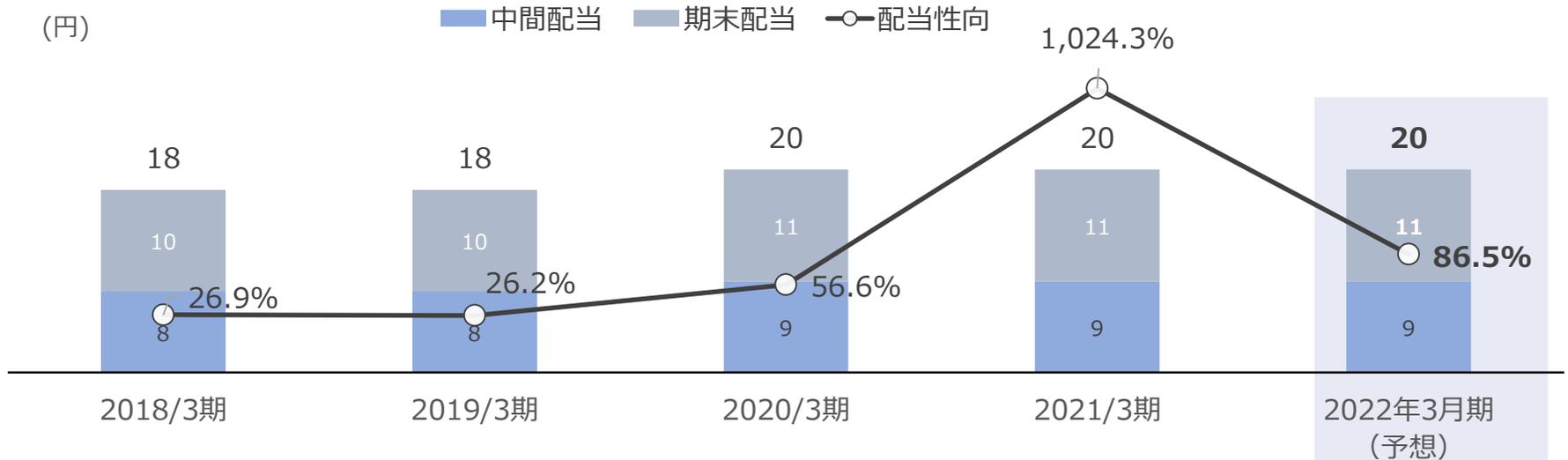
(百万円)	2021年 3月期	2022年3月期	
	通期実績	通期予想	前期比
売上高	40,140	<b>47,600</b>	+7,460   +18.6%
自動車分野	27,039	<b>32,200</b>	+5,161   +19.1%
材料関連	5,399	<b>6,500</b>	+1,101   +20.4%
自動車関連	21,639	<b>25,700</b>	+4,061   +18.8%
電子情報分野	12,106	<b>14,700</b>	+2,594   +21.4%
HDD用サスペンション	7,871	<b>10,200</b>	+2,329   +29.6%
プリンター関連	3,271	<b>3,400</b>	+129   +3.9%
通信関連	963	<b>1,100</b>	+137   +14.2%
その他	995	<b>700</b>	▲295   ▲29.6%

# 2022年3月期 配当方針

- 将来に向けた積極投資の継続により利益水準は低いものの、回復途上  
⇒「中期経営計画GGP21」の安定配当方針に則り、引き続き年間配当20円を予定

配当方針	当期純利益が	配当下限目標	20円
	25億円まで配当性向	30%	
	25億円超配当性向	40%	

(円)



中間配当	8円	8円	9円	9円	<b>9円</b>
期末配当	10円	10円	11円	11円	<b>11円</b>
年間配当計	<b>18円</b>	<b>18円</b>	<b>20円</b>	<b>20円</b>	<b>20円</b>

## 【ご注意】

本日の説明資料には、当社の事業に関する業績見通し、将来の計画・方針等に関する記述が含まれていますので、株券等の取引を行う際には、金融商品取引法その他の法令の遵守をお願い申し上げます。また、将来予想は、現時点で入手できる情報に基づき作成しており、既知または未知のリスク・不確実な要因等を含んでいるため、当社の実際の業績、事業活動や財政状態が、将来予想の内容と大きく異なる場合がありますが、そのような場合であっても当社は、将来予想の内容を更新または修正して公表・開示する責任を負うものではありません。